

市政方針

笑顔があふれる

まちづくりへの挑戦

第14回市議会定例会で、岩倉市長は平成30年度の市政方針と予算案を説明しました。市政方針では、3期目を振り返るとともに、誰もが住んでいて良かったと実感できるまち、住みたくなるまちを、オール苦小牧でつくっていく決意を表明しました。

市政運営に臨むに当たり、今年度取り組む基本政策として3項目、重点施策として10項目、主要施策として新しい総合計画に基づく5つのまちづくりの目標に沿った施策を掲げました。

人口減少と少子高齢化が同時進行する困難な時代に直面している今こそ、誰もが住んでいて良かったと思えるまち、住みたくなるまちを、オール苦小牧でつくっていかねければなりません。

私は、今年のスローガンを、「warm heart!」
「ふくしのこころ」としました。困難な時代だからこそ、人と人との絆が重要であり、一人一人が「支え合い」、一人一人が「助け合う」、笑顔があふれるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

また、人材・資材・資金などの投資をさらに呼び込むため、本市の近未来に向けた成長戦略として、ものづくり産業のさらなる集積、臨海ゾーンにおけるロジスティクスの構築、そして臨空ゾーンにおけるIR（カジノを含む統合型リゾート）などの国際観光リゾートの展開にチャレンジしてまいります。



いわくら ひろふみ
苦小牧市長 岩倉 博文



▶ 政策推進課 ☎(32)6039

◆ 基本政策 ◆

1 財政健全化

将来にわたって、市民ニーズやさまざまな行政課題に対応が可能な財政基盤の強化に向けて、財政シミュレーションの精度を高め、健全性を確保しながら計画的な財政運営に努めてまいります。

2 行政改革

現行のプランを改訂し、総合行政システム導入に伴う総合窓口設置のほか、民間活力を積極的に活用する取り組みを拡充しております。〃全体最適の意識〃のもと、行政費用の抑制と市民サービスの進化に向け、行政改革を加速してまいります。

3 市民自治の推進

まちづくりに関する情報を市民と共有し、市民参加と協働によるまちづくりを進めてまいります。また、まちかどミーティングなどを通じて、市民と行政との対話を充実させ、多くの市民の声をまちづくりに反映してまいります。

◆ 重点施策 ◆

企業誘致

周辺の自治体と連携し、戦略的な誘致活動に取り組むことで、ものづくり産業のさらなる集積につなげてまいります。

ます。また、新千歳空港への良好なアクセスを生かした観光産業、自動走行や水素エネルギー関連産業など、今後成長が見込まれる産業の展開を促進するため、関連企業や関係施設、実証事業の誘致に取り組んでまいります。

子ども・子育て支援

待機児童が発生している3歳未満児に対する保育の受け皿を拡充するため、小規模保育施設の整備を進めるとともに、これを支える人材の確保、保育士などの負担軽減および多子世帯への保育料無償化を継続するなど、保育環境の整備に取り組んでまいります。

らくのまちづくり

子どもからお年寄りまで、そして障がいの有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で安心して生き生きと自立した生活が送れるように、共に生きる社会の実現に向けて、取り組んでまいります。

景気・雇用対策

市内企業の魅力や求人情報を広く周知し、地元の若者やUIJTアン希望者とのマッチングを図るなど、企業の人材確保を支援してまいります。また、新たに託児付きの研修を実施するなど、子育て女性の就業を進めてまいります。

災害に備えたまちづくり

大雨対策では、10年確率降雨に対応し得る雨水管整備などを進め、浸水被